



KOBE CITY PHILHARMONIC CHORUS



神戸市混声合唱団
設立30年

神戸市混声合唱団

あなたに贈るコンサート

孤高の歌姫、 ちあきなおみの世界

出演者

【ソプラノ】 杉浦 希未・田中めぐみ
端山 梨奈・丸山 晃子

【バ ス】 武久 竜也・中野 嘉章
西尾 岳史・福嶋 勲

【アルト】 長谷川明莉・林 真衣
肥田真莉子・村井 優美

【ピアノ】 沢田真智子

【テノール】 秋本 靖仁・総毛 創
眞木 喜規・三木 秀信

特別出演

【ヴァイオリン】 萩原 合歓 神戸市室内管弦楽団

【企画・おはなし】 福嶋 勲

プログラム

♪ 喝采

♪ 雨に濡れた慕情

♪ 紅とんぼ

♪ 朝日のあたる家

♪ 夜へ急ぐ人

♪ ねえ、あんた ほか

歌い出した瞬間、圧倒的な歌唱力と表現力で我々を歌の世界に引きずり込む歌姫、ちあきなおみ。活動休止のままとなった今、もはや伝説として語り継がれる彼女の世界に、神戸市混声合唱団が挑みます。

恒例のなでしこホール秋の歌謡曲シリーズ。代表曲「喝采」から幻の名曲「ねえ、あんた」まで、今回も皆さまの思い出と共に、お気に入りの一曲を見つけにお越しく下さい。

2018年 9月30日(日) 14:00開演 (13:30開場) 西区民センター なでしこホール

入場料(全席自由) 前売券 1,300円(当日券 1,500円)

回数券(5枚綴り) 6,000円

※やむを得ず、出演者、プログラムを変更する場合がございます。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

※回数券は、神戸文化ホールプレイガイドまたは、当日の会場でのみ販売です。

※「神戸音楽友の会」会員の方は、無料で鑑賞いただけます。ただし入場者多数の場合はご入場を制限させていただきます場合がございます。

【入場券発売所】 発売日：6月29日(金)

- 西区民センター TEL.078-991-8321
- 神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349
- ローソンチケット TEL.0570-084-005
Lコード: 57165
- チケットぴあ TEL.0570-02-9999
Pコード: 118-588
- (公財)神戸市民文化振興財団 事業部 演奏課 TEL.078-361-7241

主催 / (公財)神戸市民文化振興財団・神戸市

【お問い合わせ】 ■(公財)神戸市民文化振興財団 事業部 演奏課 TEL.078-361-7241 ■西区民センター TEL.078-991-8321

出演者

ソプラノ



杉浦 希未 田中めぐみ 端山 梨奈 丸山 晃子

アルト



長谷川明莉 林 真衣 肥田真莉子

ピアノ



村井 優美 沢田真智子

テノール



秋本 靖仁 総毛 創 眞木 喜規 三木 秀信

バス



武久 竜也 中野 嘉章 西尾 岳史 福嶋 勲

ヴァイオリン



萩原 合歓

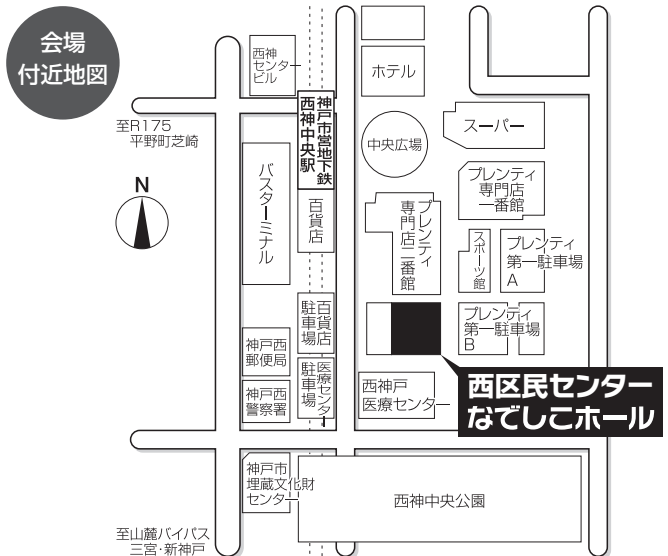
(特別出演)
神戸市室内管弦楽団



神戸市混声合唱団

KOBE CITY PHILHARMONIC CHORUS

1989年に神戸市により設立された日本を代表するプロフェッショナルの合唱団。神戸を拠点に童謡・唱歌、日本歌曲、外国歌曲、オペラ、シャンソンまで豊富なレパートリーをもち、市民に身近な合唱団として親しまれ「音楽のまち神戸」推進に大きな役割を果たしている。2005年には、ウラディーミル・アシュケナージ指揮、NHK交響楽団と「レクイエム」(阪神・淡路大震災10年)を共演。2010年、合唱の国ラトヴィア(リガ市)で世界的に有名な室内合唱団「アヴェ・ソル」とジョイントコンサートを行い、姉妹合唱団協定を締結。2013年7月、リガ市からの招聘により、ユネスコ無形文化遺産であるラトヴィア「歌と踊りの祭典」に出演。また、2011年に初のCD、特別演奏会「宇野功芳 叙情の世界」を、2012年には第2弾CD「宇野功芳 叙情の世界2」をリリースし、レコード芸術特選盤などに選出される。2017年10月に松原千振が音楽監督に就任。澄みきった密度の高い合唱は、美しい神戸ハーモニーとして高い評価を得ている。



【電車】●市営地下鉄「西神中央駅」下車、徒歩約3分
市バス・神姫バス「西神中央駅」下車、徒歩約3分

秋の定期演奏会

次回定期演奏会ご案内

Rossini ~ Con Amore - 愛を込めて -

2018年9月16日(日) 14:00開演 (13:30開場) 神戸文化ホール 中ホール 全席指定

指揮：佐藤 正浩 曲目：小荘巖ミサ / G. ロッシーニ 作曲

Masahiro Sato

Petite Messe Solennelle / G. Rossini

入場料：一般 4,000円
U25 (25歳以下) 1,000円
(神戸文化ホール友の会) 3,200円

- ローソンチケット……………Lコード 51499
- チケットぴあ……………Pコード 109-711

【指揮者：佐藤正浩】-プロフィール-

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。ジュリアード音楽院ピアノ伴奏科修士課程修了。1992年、サンフランシスコ・オペラ専属ピアニストとして研鑽を積む。また、リヨン国立歌劇場の首席コレパティールに就任し、世界初演を含む20を超える作品の公演に参加し、多くの指揮者、歌手から絶大な信頼を得る。同時に指揮者として活動を開始し、海外の音楽祭での活躍もめざましい。日本においても、代表的なオーケストラと共に、多くの「オペラ」を指揮し、評価も高い。愛知県立芸術大学、昭和音楽大学大学院講師。慶應義塾フグネル・ソサイエティー男声合唱団常任指揮者。



プログラム構成について

4年ぶりに神戸市混声合唱団の指揮をさせて頂くことになった。前回は「Transcription」と題して、歌曲などの編曲物を集めてプログラムを組んだ。その時の彼らの印象は、音楽に対する飽くなき探究心、高いテクニックを伴った豊かな声、そして果てしない集中力を持つ合唱団であるという事である。独語、仏語や伊語などの歌曲は、そのディレクションを含めて、詩の解釈など一筋縄では行かないものだが、彼らは実に色彩豊かに、そして喜びを持って演奏してくれた。それは彼らの一人一人がソリストとしての訓練を経て、沢山の経験を積んでいるからに他ならない。今回はロッシーニの「小荘巖ミサ曲」を選んだ。それは彼らの表現豊かな声を生かしたいからである。オペラ作曲家ロッシーニが晩年に書いたこのミサには、輝かしい声と、禁欲的・内省的な音楽表現のための特別な"sottovoce"が求められるが、彼らはそれを十分に持ち合わせている。それぞれがソリストとしての実力を持つメンバーであるから、様々なソロは持ち回りで歌おうと思う。また「小荘巖ミサ曲」と「小さな」という題名を伴うが、決して短いミサという事ではなく、編成が小さい事を示す。後にロッシーニ自身で管弦楽版が作られたが、今回はピアノ2台とホルモニウムというオリジナルの編成で演奏する。何故ならこの編成が秀逸で、演奏効果も高いからで、素晴らしいピアニスト陣を擁した神戸市混声合唱団が一丸となって取り組めるからである。

指揮者：佐藤正浩



神戸市混声合唱団 設立30年